

三浦のぶひろNEWS

Miura Nobuhiro News 2016 Spring vol.2 発行：三浦のぶひろを励ます会

生活を守る。だから
中小企業を元気にしたい。

公明党国際局次長・青年局次長

三浦のぶひろ

日本の景気経済は、今まさに正念場。デフレ脱却まであと一歩のところまで来ています。

大企業の景気の波を中小企業に届けていくため、私は真剣勝負で働いてまいります。

中小企業は日本の全企業数の99.7%を占め、わが国の雇用の約7割を支えています。

神奈川県内に目を向ければ、中小企業の事業所数(従業員数500人以下)は28万社を超え、そこで働く人々は約226万人です。この先には、大切な家族があり、家計があり、生活があります。そして、未来があります。

この「雇用」を守り続けなければ、生活の安定と向上は確保できません。だから、社会状況に左右されやすい中小企業や小規模事業所を守るために、政治家が本気で汗を流すべきです。

新しい産業を生み出す力強い経済。その成長軌道をつくる事業の発掘と積極投資。そして国家として世界に誇る技術や能力のトップセールス。三浦のぶひろは、大きな可能性を秘めた地元・神奈川にしっかりと根を張り、机上の経済理論ではない、生きた経済の発展を「現場の声」からつくり出していきます。

三浦のぶひろ



「現場の声を聴く。」

自公 連立政権の発足で、経済再生、特にデフレ脱却への道筋が見え始めた日本。一方で中小企業や小規模事業所の経常利益は伸び悩んでおり、「仕事はあるが、儲けがない」というのが現場の実態です。公明党は、特に立場の弱い小規模の事業所や孫請けなどの実態調査に基づく、下請対策の強化を主張し、現在、政府を挙げての調査を推進しています。

調査 対象は、約1万社の中小企業。特に取引上、弱い立場になりやすい小規模の事業者に対しては、親会社から不利益な扱いをされないように配慮しながら、担当者が直接訪問して、個別に聞き取り調査を行っています。

三浦のぶひろも、「現場の声を聴く」ことから始めたいとの思いで、地元の企業や事業所に足を運んでお話を伺っています。日本の経済と雇用を支える中小企業や小規模事業所を、三浦のぶひろは全力で応援させていただきます。



「三浦が好循環をつくる。」

中小企業の生産性向上を支援

- 「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」の推進など、中小企業のものづくりや新しい商品の開発、生産性向上のための設備導入を強力に支援します。
- 中小企業が新たに取得する機械装置（160万円以上、生産性1%向上）について、固定資産税を3年間50%減税し、生産性向上を促します。

中小企業の経営をサポート

- 「よろず支援拠点」や「専門家による経営診断」などのアドバイスを3回まで無料で受けられるバックアップ体制を整備します。
- 新しい事業や海外展開に取り組む中小企業に対し、低利での融資制度を拡充します。

IoT（アイ・オー・ティー）技術などによる生産性革命

- 産官学による研究開発を推進するとともに、中小企業など多様な主体によるIoT（モノのインターネット）技術開発を加速します。

三浦のぶひろ

Profile

1975年3月5日生まれ。横浜市港南区在住。宮城県仙台市出身。福島県立福島高校、千葉工業大学を卒業後、防衛大学校の機械システム工学科助手に。2003年には東京工業大学で工学の博士号を取得。4年おきに開催される先進発電機器材料の国際会議（EU主催）で、最も優れた発表者に贈られる「ベストポスター賞」を連続受賞（02年、06年）。日本人初の快挙となった。2012年、防衛大学校で最年少の准教授に就任。家族は妻と娘と愛犬。

公式ウェブサイト miura-nobuhiro.com

メールマガ登録
join@miura-nobuhiro.com

動画を視聴
三浦のぶひろショートムービー

